

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 01092377
PUBLICATION DATE : 11-04-89

APPLICATION DATE : 02-10-87
APPLICATION NUMBER : 62248046

APPLICANT : NIPPON OZON KK;

INVENTOR : HARADA MASATARO;

INT.CL. : C23C 18/22

TITLE : PRETREATMENT FOR ELECTROLESS PLATING MATERIAL

ABSTRACT : PURPOSE: To carry out superior electroless plating without causing environmental pollution by subjecting, prior to the electroless plating of synthetic-resin molded goods, this material to treatment with ozone gas while applying heating to this material.

CONSTITUTION: In an electroless plating method in which molded goods of synthetic resin (ABS resin, etc.) are used as a material and a metallic film is deposited on the material surface by means of chemical treatment, the material is first subjected to decreasing treatment prior to electroless plating. Subsequently, the material is treated, while heated to about 70~150°C, with ozone, by which the surface of the material is roughened. At this time, surface roughening can be accelerated when ozone treatment is performed under ultraviolet-ray irradiation. Further, when the above material is washed with sulfuric acid after the ozone treatment, the ruggedness of the surface can be increased to a greater extent. By applying electroless plating to the material surface-treated as mentioned above, superior plating treatment can be carried out without causing environmental pollution.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報(A)

平1-92377

⑫ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)4月11日

C 23 C 18/22

6686-4K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 無電解メッキ素材の前処理方法

⑮ 特 願 昭62-248046

⑯ 出 願 昭62(1987)10月2日

⑰ 発 明 者 栢 原 弘 神奈川県横浜市泉区新橋町1078-56
⑱ 発 明 者 原 田 雅 太 郎 神奈川県藤沢市西宮450-8
⑲ 出 願 人 日本オゾン株式会社 東京都北区王子1丁目23番13号
⑳ 代 理 人 弁理士 芦田 直衛

明 細 書

1. 発明の名称

無電解メッキ素材の前処理方法

2. 特許請求の範囲

- 1 合成樹脂成形品を素材とし、該素材表面に化学的処理により金属皮膜を析出させる無電解メッキ法において、無電解メッキに先立ち、前記素材を加熱しつつ、オゾンガスで処理することの特徴とする無電解メッキ素材の前処理方法。
- 2 紫外線の照射下において、前記素材を加熱しつつ、オゾン処理することの特徴とする特許請求の範囲第1項記載の無電解メッキ素材の前処理方法。
- 3 オゾン処理した後の素材を硫酸で洗滌することの特徴とする特許請求の範囲第1項または第2項記載の無電解メッキ素材の前処理方法。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は合成樹脂成形品の無電解メッキにおける前処理方法に関する。

〔従来の技術〕

無電解メッキとは、一般に溶液中の金属イオンを化学薬品によって還元析出させ、被メッキ物の上に金属皮膜を作る方法を指すもので、外部電力によって電解析出させる電気メッキと異なり、無電解メッキによると絶縁物にも金属皮膜を作ることができ、また無電解メッキを施した絶縁物には電気メッキを施すことができるので、近年は自動車部品や家庭用電気製品等に利用範囲を拡げている。なかでもABS樹脂（アクリロニトリルブタジエン；スチレン共重合体）を素材として構造体を成形し、その表面に金属メッキを施すことが多用されている。

〔発明が解決しようとする問題点〕

無電解メッキは、脱脂、エッチング、中和の工程を経た素材をメッキ浴に浸漬することによって達成されるが、通常エッチング工程でクロム酸、硫酸などを用いるため中和工程を含めてクロム酸化物の廃液処理を必要とする。特に、クロム酸は莫大な公害を引き起こす可能性があるため、その

脂分を除去した後、水洗いする。

第2工程：オゾン処理によりエッチング

メッキ素材を約 100℃に加熱した容器に入れて温度を均一にした後 100g/㎡のオゾン濃度でオゾンを容器に注入した。

従来のエッチング工程は、例えばABS樹脂に対してはクロム酸と硫酸の混合液を65～75℃に加熱した浴中に樹脂を浸漬して表面を化学的粗面にする。ABS樹脂の表面近くでは微細なポリブタジエン粒子が $10^3 \sim 10^4$ 人の間隔でマトリックス相に分散しているが、上記エッチングを行うとポリブタジエン粒子がエッチング液に溶解する結果、表面は微細な凹部が無数にできる。このような樹脂表面にメッキ層ができると、いわゆる投錨効果によってメッキ層は機械的に樹脂と結合して容易に剥離し難くなるのである。このような効果はオゾン処理によって達成され、在来法における中和工程は不要である。

第3工程：メッキ工程

あらかじめ調整したメッキ浴に素材を浸漬して

を行った。

第3工程：実施例1のメッキ工程と同じ。

実施例3

実施例2と同様にABS樹脂の試験片を実施例2の第1工程、第2工程と同様に処理し、第3工程に入る前に硫酸液による処理を行ってエッチング効果を高めた後、第3工程として常法によるニッケルメッキを行った。

上記各実施例の投錨効果を従来法の無酸液によるエッチングの場合と比較した結果は下記のとおりであった。

	密着強度 (kg/cm)	従来法 (kg/cm)
実施例1	1.0～2.0	1.0～3.0
実施例2	1.2～2.5	
実施例3	1.5～3.0	

〔発明の効果〕

以上述べたように、本発明によればクロム酸液などの有害物質を使用することが無いので、公害

行うメッキ浴としては、例えばニッケルメッキの場合は硫酸ニッケル、次亜リン酸ソーダ、グエン酸などの純水溶液を用いる。メッキ浴の温度と浸漬時間によってメッキ層の生成速度が決まる。

○オゾン処理と投錨効果

約 100℃に加熱した容器に入れた樹脂試験片 $30 \times 100 \times 1$ mm に対し、オゾン濃度 100g/㎡のオゾン酸素混合ガスを10ℓ/minの流量で接触させ、オゾンによるエッチングを行い、次いで常法のニッケルメッキを行った。

実施例2

実施例その1と同様にメッキ素材はABS樹脂を用いた。

第1工程：実施例1の第1工程と同じ。

第2工程：オゾンと紫外線によるエッチング水銀ランプを内蔵した容器にメッキ素材 ($30 \times 100 \times 1$ mm) 濃度 100g/㎡のオゾンを含有した酸素-オゾン混合ガスを10ℓ/minの流量で接触させ、同時に水銀ランプを点灯してエッチング

問題もなく良好な無電解メッキを行うことができる。

出願人 日本オゾン株式会社
代理人 芦田直樹